

日本女子大学 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

シラバス参照用 DP コード

目次

日本女子大学 DP.....	1
基盤的科目群 DP.....	2
家政学部共通科目 DP	4
児童学科 DP	5
食物学科（管理栄養士専攻） DP	6
食物学科（食物学専攻） DP	7
住居学科 DP	8
被服学科 DP	9
家政経済学科 DP.....	10
日本文学科 DP	11
英文学科 DP	12
史学科 DP.....	13

現代社会学科 DP	14
社会福祉学科 DP	15
教育学科 DP	16
心理学科 DP	17
文化学科 DP	18
数物情報科学科 DP	19
化学生命科学科 DP	20
国際文化学科 DP	21
建築デザイン学科 DP	22
食科学科 DP	23
栄養学科 DP	24

日本女子大学 DP

日本女子大学は、多様で大きく変化し続ける社会の中で、様々な立場の人の幸福と平和を実現する明日を共創するために、自らの役割を見出し、探究心と信念を持って生涯にわたって学び実践し続ける人間の成長を、本学の教育の理念（三綱領）に基づき支援する教育・研究活動を行う。本学は、学生が本学における学びと生活を通じ、以下の能力を修得することを、学位授与方針とする。

DP 1 変わりゆく社会を豊かに生きる確かな知識と教養

- 専門的な知識・技法および技能
- 専門領域にとらわれない幅広い知識や教養

DP 2 新たな価値や新しい知を創造するための基礎力

- 論理的思考力
- 情報収集力・批判的な検証力
- 課題発見力
- プレゼンテーション力
- 議論の中で考えを深め、発信する力

DP 3 多様性を尊重し、協働する力

- 多様性に関する知識
- 他者へ共感する力、相手とのつながりを形成する力
- 目的の達成のために協働する力

DP 4 地球レベルの視野をもって生活し、行動する力

- 地球レベルの問題への知識と、その問題に自分事として関わる力
- 境界を越えてコミュニケーションする力

DP 5 主体的に生涯学び続ける態度

- 自身に向き合い、目標を立て、その実現のために学び、行動する力

基盤的科目群の DP

本学では、本学の教育の理念に基づき、学部・学科共通の基礎的な知識や技能、ならびに幅広い教養を身につけるための基盤的科目群を提供する。本学の全ての学生は、その学修を通じて、大学ディプロマ・ポリシーならびに各学科で定める到達目標（学科ディプロマ・ポリシー）を達成するための基礎的な力を身につける。この基盤的科目群によって身につく学修成果は以下のとおり。

教養特別講義

- 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。

【大学 DP3・DP5】

JWU キャリア科目、JWU 社会連携科目

- 社会的にも職業的にも自立して生きるために必要な知識、技能、態度が身につく。
- 社会課題に取り組むための基礎的な知識と技術を修得し、多様な人々と協働することができる。

【大学 DP3・DP4・DP5】

基礎科目

・外国語（必修英語）

- 英語を読む力、書く力が向上する。さらに、必要な情報を収集して、英語によるプレゼンテーションをすることができる。
- 英語という言葉の背景にある文化・社会に対する理解を深め、その理解に基づいて英語によるコミュニケーションをとることができる。

【大学 DP2・DP4】

・外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）

- ドイツ語、フランス語、中国語または韓国語の基本的な文法を理解し、状況に応じた基本的なコミュニケーションをとることができる。
- ドイツ語、フランス語、中国語または韓国語の文化的背景に対する理解が深まる。

【大学 DP3・DP4】

・**情報処理**

- 情報科学、情報処理に関する基礎的な知識をもち、それを活用した情報の整理、分析、可視化、表現ができる。また、情報倫理に基づいた判断ができる。

【大学 DP1・DP2】

・**身体運動**

- 適切な運動を実施するための知識と技能を習得できる。
- 生涯にわたる運動の意義を理解し、深めることができる。
- 他者と共に運動を楽しみ、心身の健康の保持・増進、体力向上を図ることができる。

【大学 DP1・DP3・DP5】

教養科目

- 専門にとらわれない幅広い知識が身につき、専門以外の分野への関心が高まる。
- 豊かな人生を生きるために必要な聞く力および自立する意欲が身につく。

【大学 DP1・DP2】

家政学部共通科目 DP

家政学は、家族やコミュニティを場として、人と人、人と環境との相互作用、およびそこに生起する諸問題・諸矛盾を把握し、より良い生活や社会を創造する複合領域の科学である。

家政学部共通科目は、家政学の全体像を学ぶことを目的としている。この科目を履修することにより、諸領域が複合的に関連して成り立つ生活の構造をとらえる手がかりとし、各学科で専門分野を学ぶ意義をより深める。

- DP1 家族やコミュニティを場として、人と人、人と環境との相互作用をとらえる「生活者の視点」を理解することができる。【大学 DP1】
- DP2 生活そのものを部分的にではなく全体的にとらえるために、生活に関わる諸領域の基礎的知識を身につけている。【大学 DP1】
- DP3 現実生活を総合的な視野で客観的に把握し、課題を分析し行動しようとする意欲を身につけている。【大学 DP2・DP4】

児童学科 DP

児童学科では、「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の3領域からなる児童学の先端的な専門的知識に基づき、18歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材の育成を目指す。児童学科における学修の成果として、以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとする。

DP1 児童学の先端的な研究方法や「発達」「創造・文化」「社会・臨床」の3つの各領域についての専門的知識を身につけ、子どもについて多角的に理解することができる。

【大学 DP1】

DP2 子どもに関する現代的課題や社会的ニーズを把握し、子どもや子どもを取り巻く環境を的確に分析することができる。【大学 DP2・DP3】

DP3 家庭や地域における生活者としての子どもの育ちや環境をよりよくする目標達成のために、多職種の専門職と協働するための基礎力を身につけることができる。【大学 DP3・DP4】

DP4 子どもの最善の利益を考えながら、子どもに関する課題の解決のために主体的に行動することができる。【大学 DP4・DP5】

食物学科（管理栄養士専攻）DP

管理栄養士専攻では、管理栄養士として様々な領域で社会貢献できる専門家を育成することを目標としている。具体的には体系化されたカリキュラムを通じ、自発的な学修意欲を持ち続け、専門的知識および技術を有し、科学的根拠に基づく栄養管理を通して、人々の健康増進や疾病の予防・治療に貢献する管理栄養士を育成するための教育を展開している。そのため、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 管理栄養士資格を取得するのに必要な知識と応用力を身につけ、対象や目的に応じて展開できる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 日々の生活の中において、栄養管理に関する課題を発見し、正しい知識に基づき、論理的に洞察できる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 実験・実習や卒業研究でのグループワークを通して、管理栄養士としてのマネジメント力やコミュニケーション力が身につく。【大学 DP2・DP3】
- DP4 体の仕組みの基礎的理解のうえに、臨床現場で求められる栄養管理の意義を理解し、食事を用いて栄養療法を実践的に示すことができ、人々の生活の質（Quality Of Life: QOL）の向上に貢献する能力が身につく。【大学 DP2・DP3】
- DP5 国際的視野を有し、異分野との連携と協働を意識しながら、全ての人々の栄養状態を改善・維持し、健康増進を推進することで、様々な社会生活を支える力が身につく。【大学 DP3・DP4】
- DP6 豊かな人間性と高い倫理観を基盤に、健康の保持増進、疾病治療を担う専門職として責務を果たす自覚を持ち、主体的に社会参画する意欲と生涯にわたり学習を継続する態度が身につく。【大学 DP2・DP5】

食物学科（食物学専攻）DP

食に関する高度な基礎科学のおよび専門的知識を身につけ、食科学に関わる研究者、開発者として多職種と連携して社会貢献できる人材を育成する。長い伝統を通して培われた効果的な教育体系に基づき、食に関する最新の科学的知見を取り入れて展開させた系統的カリキュラムを通し、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的スキルを修得する。【大学 DP1・DP2】
- DP2 学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的スキルを用い、食に関する問題解決に応用することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、多職種と連携して様々な問題に取り組む姿勢が身につく。【大学 DP1・DP3】
- DP4 生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、情報発信・プレゼンテーションをすることができる。【大学 DP2・DP3】
- DP5 生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。【大学 DP3・DP5】
- DP6 人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、また食に関する諸問題に地球環境・SDGs を考えてグローバルな視点から取り組む意欲が身につく。【大学 DP4・DP5】

住居学科 DP

住居学科では、住居学および建築学の視点から住居から都市までの生活環境を総合的に理解し、住生活を包含する豊かな環境をデザインできる専門性の高い人材の養成を目的とする。具体的には国内外の生活環境を歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、その他社会課題などの側面から論理的に理解することができ、その知見に基づいて豊かな生活環境を創造性と表現力を持ってデザインすることができる人材を育成する。そのため、以下の能力習得を学位授与の方針とする。

- DP1 住居、建築、地域、都市に関する専門知識を有し、広い視野、グローバルな視点から適切な生活環境を理解し、考察することができる。【大学 DP1・DP3・DP4】
- DP2 住居、建築、地域、都市を論理的に分析し、デザインするために必要な技能を持ち、多様な人の立場から生活環境に関わる課題を理解し、その課題解決に向けた豊かな生活環境を創造性を持ってデザインすることができる。【大学 DP1・DP2・DP3】
- DP3 自然科学・情報処理技術の知識や方法も用いながら、学修、研究、設計を行うことができ、その成果や提案を論理的に説明・発表し、討論することができる。【大学 DP2・DP3】
- DP4 自立的、継続的、計画的に、かつ協調性を持って学習や課題作業を遂行することができる。【大学 DP3・DP5】

被服学科 DP

被服学科では、被服に関する幅広い専門領域の学修を通して、被服や衣生活の創造に資する知識、技能、思考を科学的な視点から身につけ、豊かで充実した人間生活の実現や我々の生活における様々な問題の解決に貢献できる人材の育成を目指す。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 被服学における幅広い専門領域の知識、技能、思考を修得し、これを応用して被服や衣生活に関する新たな知見を科学的に理解し説明できる。【大学 DP1】
- DP2 被服や衣生活における様々な課題に関連した情報やデータを収集し、体系的に分析・整理できる。【大学 DP2】
- DP3 人間生活における様々な問題や課題を発見し、それらを科学的、創造的に解決するとともに、成果を適正に発信できる。【大学 DP2・DP3】
- DP4 人間、社会、自然、環境についての深い関心や、被服を通して人々の生活の質の向上に貢献したいという意欲を持つ。【大学 DP4・DP5】

家政経済学科 DP

家政経済学科では、私たち一人ひとりの生活をめぐる社会的課題や経済的課題について、経済学を基に家政学や経営学、政治学などの知識を活かし、生活者の視点から学際的に研究する。これを通じて複雑化する様々な課題の解決方法を探り、学びを行動に活かし、持続可能な社会を構築するために貢献できる人間の育成を目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 経済学、家政学、経営学、政治学など幅広い社会科学領域の基礎知識を身につけている。【大学 DP1】
- DP2 課題に関係する情報を多様な手段を組み合わせて収集できる。【大学 DP2】
- DP3 選択したコースの専門分野の知識と分析手法を身につけ、社会的課題または経済的課題について分析することができる。【大学 DP1・2】
- DP4 経済と生活の全体性をとらえる視野を持って、生活をめぐる様々な社会的課題や経済的課題を把握し、その解決のために何が自分にはできるか考えようとするための能力を身につけている。【大学 DP1・DP4】
- DP5 他者の意見を傾聴し、それに位置づけながら自らの意見を述べ、目的達成のために仲間と協働することができる。【大学 DP2・3】
- DP6 自分の考えをアカデミック・ライティングの方法に則って、論文・レポートとして表現することができる。【大学 DP2】
- DP7 自己の利益だけでなく社会や自然への影響を考えながら、多様な立場の人々の幸せや持続可能な社会の実現に配慮して生活する方法を理解できる。【大学 DP3・4】

日本文学科 DP

日本文学科では、日本語・日本文学および中国文学・思想（漢文学）、図書館情報学、日本語教育学の各学問領域において自ら課題を発見し、それを学術的な知見、論理的思考に基づいて理解・分析し、他者と協働しながら解決する過程を通じて、国際社会に主体的に貢献できる人材の育成を目的とする。このため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

DP1 日本語・日本文学および中国文学・思想（漢文学）、図書館情報学、日本語教育学に関する専門的な知識・技能を獲得し、それに基づいて、日本および国際社会を多面的に理解することができる。【大学 DP1】

DP2 一次資料の解読やフィールドワークなどを通じて、実証的な分析力を身につけ、収集した情報を批判的に検証したうえで、自己の意見を論理的に構築することができる。【大学 DP1・DP2】

DP3 高度な言語運用能力および ICT を駆使した情報収集能力・発信能力を用いて、自らの考えを適切に他者に伝えると同時に、多様性に富む意見を理解することができる。【大学 DP2・DP3・DP4】

DP4 日本語・日本文学および中国文学・思想（漢文学）、図書館情報学、日本語教育学に関する課題を自ら発見し、主体的かつ計画的に解決する能力を身につけることができる。【大学 DP5】

DP5 日本語・日本文学および中国文学・思想（漢文学）、図書館情報学、日本語教育学の専門的な知識・技能を活かして、他者と協働しながら、持続的な社会の発展に主体的に関与することができる。【大学 DP3・DP4、DP5】

英文学科 DP

英文学科では、学科独自の授業科目群を設置し総合的に英語力を強化する。あわせて、英語圏の文化、文学、言語、社会に関するテーマを主体的に探究し、自分の考えを論理的かつ説得力のある英語で発信するために、以下の能力を修得する。

- DP1 英語運用能力の基礎である「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」に習熟し、英語による正確で円滑なコミュニケーション力とプレゼンテーション力、文章表現力を身につけている。【大学 DP2・DP4】
- DP2 英語を使って自らの考えを世界に向けて効果的に発信し、文化と言語の境界を越えて他者と交流し、互いに理解を深め、同じ目的に向けて協働することのできる力を身につけている。【大学 DP4】
- DP3 英語による発表や英語論文作成の経験を通じ、最適な媒体から迅速に資料を集め、英語論文を作成するための情報収集力を身につけている。【大学 DP2・DP3】
- DP4 英米を中心とした文化に関わる様々な局面（英語圏の文化、文学、言語、社会）についての深い専門的知識を身につけている。【大学 DP1】
- DP5 上記の知識をもとに、それらを自国の文化の諸局面と比較・相対化してとらえ理解する習慣を体得している。【大学 DP3】
- DP6 それらの経験を通じて、自己と世界を広い視野から複眼的にとらえることのできる思考力、健全な批評精神を身につけている。【大学 DP3・DP4】
- DP7 学科専門分野の専門的知識と、教養教育で培われた教養力を、本学の建学の精神と結びつけることにより、国際社会の一員として行動する力を身につけている。【大学 DP2・DP4】

史学科 DP

史学科では、人間の営みの集積である歴史に関する均衡のとれた幅広い知識に基づき、現代世界の諸事象について、氾濫する情報に惑わされず、時代に即した広い視野に立つ健全な批評精神を育むことを通じて、国際社会の一員として自立した生き方を主体的に切り拓いていく人間の育成を教育の目的とする。

- DP1 歴史に関する幅広い知識および歴史学の方法を修得している。【大学 DP1】
- DP2 多様な史資料を正確に読解し、歴史的事象を客観的に分析し、論理的な文章で表現できる。【大学 DP2】
- DP3 他者の意見を理解し議論するための十分なコミュニケーション力を有する。【大学 DP3・DP4】
- DP4 歴史学を学んだ成果を活かし、現代社会の諸問題の解決、文化遺産の継承あるいは教育に主体的に貢献する意欲を持つ。【大学 DP4・DP5】

現代社会学科 DP

現代社会学科では、社会学、経済学、文化人類学、歴史学などの社会諸科学の理論と方法を学習することを通して、現代社会を多角的に見つめ考える力を教育する。グローバリゼーションや各種メディアの浸透によって変化の著しい現代社会において、個人、家族、ジェンダーから、地域、民族、国家などの広い領域に至る社会問題や社会現象を総合的な視点からとらえ、的確なデータに基づいて考察できる人間の育成を目的とする。

- DP1 社会学、歴史学、経済学、人類学等の専門諸科学の理論や方法に関する幅広い知識を身につけることができる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 グローバルに広がる多様な地域社会や地域文化を、多角的な視点から掘り下げ、相対的に分析することができる。【大学 DP3・DP4】
- DP3 現代社会における多様な文化現象や社会問題を、社会科学的な視点から客観的に分析することができる。【大学 DP3・DP4】
- DP4 社会科学的に適切な問題意識から、多様な社会現象を自らの視点をもって、論文やレポートにまとめ、論じることができる。【大学 DP1・DP2・DP5】
- DP5 社会調査にかかわるデータを収集・整理・分析する能力を修得し、社会の問題・現象を実証的に分析することができる。【大学 DP2・DP3・DP4】
- DP6 現代社会の広がりに対する感覚と認識を身に付け、そこで表れる諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする高い意欲と倫理的態度を持つことができる。【大学 DP5】
- DP7 現代社会の構造を知るため、そのなかに自己を位置づけ対象化する能力を持ち、社会と自己の関係を表現する力を備え、それによって様々なバックグラウンドを持つ他者と討議交流することができる。【大学 DP3・DP5】
- DP8 日本語および外国語を運用する能力を持ち、文献・資料の背景にある社会的・歴史的な文脈を理解したうえで的確かつ批判的に解読し、また広く社会に発信することができる。【大学 DP3・DP4・DP5】

社会福祉学科 DP

社会福祉学科では、アジアの社会福祉教育のパイオニアとしての伝統を受け継ぎ、社会福祉に関する多彩な学問を従来の枠組みにとらわれず広い視野から学ぶことで、「共生社会」を実現するための意欲、深い知力、柔軟な思考を持った人材を育成することを目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 社会のあらゆる生活上の諸問題に関心を持つことができる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 今日生じている生活上の諸問題について、社会構造的要因分析の視点を持つことができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 社会福祉の基本的な構造、制度・政策、方法についての知識を獲得し、社会福祉の機能を理解することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP4 課題に直面する当事者や支援活動に従事する人など、様々な立場の人の背景や置かれている状況を正しく理解し、多様や価値観を受け入れることができる。【大学 DP3】
- DP5 他者の意見と自身の意見を尊重し、他者と協働しながら思考して課題に取り組むことができる。【大学 DP3】
- DP6 問題や課題を発見し、解決に向けた適切な方法とその過程を提案することができる。【大学 DP2】
- DP7 人権と社会正義の原理に基づいたソーシャルワークのあり方を身に付け、問題の解決に向けて行動できる。【大学 DP4・DP5】

教育学科 DP

教育学科では、生涯にわたる人間の成長を教育学の幅広い基礎知識と深い専門知識に基づいて理解し、教育に関わる実践と諸問題の解決方法を複眼的な視点から探究する。そのうえで、教育コミュニケーションという側面から、多様な他者と協働し教育を核とした既存社会の変革と持続可能な社会の創造を主体的に推進できる人を育てていく。そのために、以下の能力を修得することを、教育学科の学位授与方針とする。

- DP1 教育に関わる幅広い学問領域について、基礎的な知識・技能を修得している。【大学 DP1】
- DP2 学校教育の意義や教師の役割を踏まえ、社会と教育の変化に対応するために必要な知識と技能を修得している。【大学 DP 1】
- DP3 教育的事象や社会の諸問題を、教育に関わる幅広い学問領域に基づく視点と方法論を用いて論理的に説明できる。【大学 DP2】
- DP4 人間と社会の可能性を理解し、教育の望ましいあり方について専門的知識を教育実践と結び付けて探究できる。【大学 DP2】
- DP5 専門的知識を活用し、学修者のライフステージに応じた教育を行ったり学びを支援したりする力を修得している。【大学 DP 3・DP 4・DP 5】
- DP6 教育を核とする社会システムを、他者と協働しよりよく発展させていく態度を身につけている。【大学 DP 3・DP 4・DP 5】
- DP7 自らの成長や役割のための新たな学びを持続可能な形で継続する態度を身につけている。【大学 DP3・DP 4・DP 5】

心理学科 DP

心理学科では、心の働きの普遍性について客観的・科学的な理解を深めていく姿勢と、一人ひとりの生き方の個別性を尊重する協働的な姿勢を兼ね備え、変わりゆく社会の中でのあり方をたえず探求し続ける人間の育成を目的とする。

DP1 人間の心の働きとその仕組みを、生物学的、個人的、社会・文化的な視点から包括的に理解できる。【大学 DP1・DP2】

DP2 心に関わる現象に対して、調査や実験などの科学的な研究法を適用し、実証的に探究できる。【大学 DP2】

DP3 人間が示す多様な心理学的現象を観察し、その心の働きに関する法則性を論理的に導き、新たな仮説の生成や検証ができる。【大学 DP1・DP2】

DP4 心の働きと仕組みに関する国内外の知見を活用し、社会的・科学的な問いを発見・提起できる。【大学 DP2・DP4・DP5】

DP5 人間の行動現象に対する解析能力を持ち、ICT や統計的手法を自律的に活用して表現できる。【大学 DP2・DP3・DP5】

DP6 多様な背景を持つ人々に関心を寄せ、協働のためのコミュニケーションを柔軟にとることができる。【大学 DP2・DP3・DP4】

文化学科 DP

文化学科では、様々な地域や研究領域に存在する問題を自らつかみとり、それを広い視野や学術的知見に基づいて理解・把握し、他者と協力しながら解決を模索することを通して、新たな文化や社会の構築に主体的に関わることができる人間の育成を目的とする。そのため、以下の能力の取得を教育上の目標とする。

- DP1 自他の文化に関する、その背景知をも含めた専門的知識と教養を身につけている。
【大学 DP1】
- DP2 自他の文化の多様性および相互の関係性について、論理的に判断するとともに、創造的に思考することができる。【大学 DP2】
- DP3 多様な文化現象に対して柔軟な理解と共感を示し、常にそれらを学際的な視点から探究する視野を身につける。【大学 DP3・DP4】
- DP4 文化研究を通して得られた認識の成果を論理的にまとめ、国際的な場においても発表することができる言語表現能力を持っている。【大学 DP3・DP4・DP5】
- DP5 自ら問題を設定して取り組む意欲、その結果得られた知見について、国際的な場においても発表することができる意欲を持つ。【大学 DP5】

数物情報科学科 DP

数物情報科学科では、数学、物理学および情報科学の基礎的な知識と、数学、物理学、情報科学またはそれらの融合分野の専門的な知識と論理的な思考力に基づいて、現代社会の諸事象を理性を持って分析・判断し、新しい未来を創生する人物の育成を教育の目的とする。

DP1 数学、物理学および情報科学の基礎を理解している。なお、ここでの基礎とは、これら3分野に共通してよく使われる事項とする。【大学 DP1】

DP2 数学、物理学、または情報科学の専門的な知識を持ち、それに基づいて現象や事象を理解できる。【大学 DP1・DP2】

DP3 数学、物理学、情報科学、またはそれらの融合分野について、他者とコミュニケーションをとり、学問上および現代社会の課題の解決に向けて協働することができる。【大学 DP3】

DP4 数学、物理学、情報科学、またはそれらの融合分野において課題を設定し、専門的な知識に基づき、自らの意見や考えを論理的に伝えることができる。【大学 DP2・DP5】

DP5 数学、物理学、情報科学を中心におきつつ、分野の境界を超えて広く理学の分野を概括的に理解している。【大学 DP1・DP4】

化学生命科学科 DP

化学生命科学科では、化学や生物学の専門分野を通じて自然や社会の現象を論理的に考察する力を持ち、その専門知識を活かして社会で活躍できる人物、科学的考え方を活用しつつ他者と協力して問題を解決することのできる人物の育成を目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 化学と生物学を主とした自然科学系分野における基礎的な知識を持ち、基礎的な実験を行うことができる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 化学か生物学、または複合領域のいずれかを専門とする科学分野において、専門的な知識を持ち、対象物に関する原理や理論を理解し、それらを論理的に説明することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 専門とする科学分野において、英語で書かれた基礎的文献を読み、要点を理解し説明することができる。【大学 DP4】
- DP4 他者と協力して実験や調査を行うことができ、その結果について他者と議論することができる。【大学 DP2・DP3】
- DP5 実験の計画と実施を行い、実験から得られるデータを分析・整理してその実験の内容と結果の有意性を評価し、結論を導くことができる。【大学 DP2】
- DP6 実験の目的や方法、結果および考察について、図表や文章を用いて論理的に表現し、成果を口頭で発表することができる。【大学 DP2・DP4】
- DP7 現代社会の中での科学技術の役割を理解し、自然現象や社会への影響を論理的に考察し、科学的考え方に基づいて、社会に貢献できるよう自ら努力することができる。【大学 DP5】

国際文化学科 DP

国際文化学部では、様々な地域や研究領域に存在する問題を自らつかみとり、それを国際的視野や学術的知見に基づいて理解・把握し、他者と協力しながら解決を模索することを通して、新たな文化や社会の構築に主体的にかかわることができる人間の育成を目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 英語を使って自分の体験を世界に向かって伝え、他者の意見を聞くことができる。【大学 DP 2・3・4】
- DP2 英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を通じて文化を多面的に理解することができる。【大学 DP 1・3・4】
- DP3 伝達・表現のために ICT を活用することができる。【大学 DP1・2】
- DP4 他者の意見と自分の意見を区別し、自己の意見を論理的に組み立て、有意義な仕方
で世界に向けて発信することができる。【大学 DP2・4】
- DP5 地域文化や芸術文化についての広汎かつ専門的な知識を獲得し、文化の多様性に関
する基本的な考え方を理解できる。【大学 DP1・3】
- DP6 様々な文化・地域・業界・フィールドにおいて実際的な問題を体験的につかみと
り、問題の重要性を明確にしたうえで他者と共有できる。【大学 DP2・3・4】
- DP7 実際的な問題を、広汎かつ専門的な知識と関連づけ、他者と共有できる的確な問い
としてまとめあげることができる。【大学 DP1・2】
- DP8 問いの解決のために、綿密な計画を立て、取り組むことができる。【大学 DP4・
5】
- DP9 実践的な取り組みの成果を、的確な言語表現や ICT を用いた説得的な表現様式
で、広く世界に還元し、新たな文化の創造に専門性をもって貢献できる。【大学
DP2・4】

建築デザイン学科 DP

建築デザイン学科では、住居学および建築学の視点から住居から都市までの生活環境を総合的に理解し、住生活を包含する豊かな環境をデザインできる専門性の高い人材の養成を目的とする。具体的には国内外の生活環境を歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、その他社会課題などの側面から論理的に理解することができ、その知見に基づいて豊かな生活環境を創造性と表現力を持ってデザインすることができる人材を育成する。そのため、以下の能力習得を学位授与の方針とする。

- DP1 住居、建築、地域、都市に関する専門知識を有し、広い視野、グローバルな視点から適切な生活環境を理解し、考察することができる。【大学 DP1・DP3・DP4】
- DP2 住居、建築、地域、都市を論理的に分析し、デザインするために必要な技能を持ち、多様な人の立場から生活環境に関わる課題を理解し、その課題解決に向けた豊かな生活環境を創造性を持ってデザインすることができる。【大学 DP1・DP2・DP3】
- DP3 自然科学・情報処理技術の知識や方法も用いながら、学修、研究、設計を行うことができ、その成果や提案を論理的に説明・発表し、討論することができる。【大学 DP2・DP3】
- DP4 自立的、継続的、計画的に、かつ協調性を持って学習や課題作業を遂行することができる。【大学 DP3・DP5】

食科学科 DP

食科学科では、食に関する高度な基礎科学的及び専門的知識を身につけ、食科学に関わる研究者、開発者として多職種と連携して社会貢献できる人材を育成する。長い伝統を通して培われた効果的な教育体系に基づき、食に関する最新の科学的知見を取り入れて展開させた系統的カリキュラムを通し、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的技能を修得している。【大学 DP1・DP2】
- DP2 学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的技能を用い、食に関する問題解決に応用することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、多職種と連携して様々な問題に取り組む姿勢が身についている。【大学 DP1・DP3】
- DP4 生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、情報発信・プレゼンテーションをすることができる。【大学 DP2・DP3】
- DP5 生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身についている。【大学 DP3・DP5】
- DP6 人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、また食に関する諸問題に地球環境・SDGs を考えてグローバルな視点から取り組む意欲が身についている。【大学 DP4・DP5】

栄養学科 DP

栄養学科では、管理栄養士として様々な領域で社会貢献できる専門家を育成することを目標としている。具体的には体系化されたカリキュラムを通じ、自発的な学修意欲を持ち続け、専門的知識および技術を有し、科学的根拠に基づく栄養管理を通して、人々の健康増進や疾病の予防・治療に貢献する管理栄養士を育成するための教育を展開している。そのため、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 管理栄養士資格を取得するのに必要な知識と応用力を身につけ、対象や目的に応じて展開できる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 日々の生活の中において、栄養管理に関する課題を発見し、正しい知識に基づき、論理的に洞察できる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 実験・実習や卒業研究でのグループワークを通じて、管理栄養士としてのマネジメント力やコミュニケーション力が身についている。【大学 DP2・DP3】
- DP4 体の仕組みの基礎的理解の上に、臨床現場で求められる栄養管理の意義を理解し、食事を用いて栄養療法を実践的に示すことができ、人々の生活の質（Quality Of Life：QOL）の向上に貢献する能力が身についている。【大学 DP2・DP3】
- DP5 国際的視野を有し、異分野との連携と協働を意識しながら、すべての人々の栄養状態を改善・維持し、健康増進を推進することで、様々な社会生活を支える力が身についている。【大学 DP3・DP4】
- DP6 豊かな人間性と高い倫理観を基盤に、健康の保持増進、疾病治療を担う専門職として責務を果たす自覚を持ち、主体的に社会参画する意欲と生涯にわたり学習を継続する態度が身についている。【大学 DP2・DP5】